トピックス

情　報
Information Systems and Network Service

統合ID管理ソリューション“iDcenter Version 4.0”での機能拡張

Enhancement in Integrated Identification Management Solution "iDcenter Version 4.0"

1．統合ID管理ソリューション“iDcenter”

企業では従業員の個人識別情報を使い情報システムや入退出管理，機密情報管理等の複数のセキュリティシステムを導入し，それぞれのシステムで，ID(IDentification)情報を個別に持ち，ID情報の変更管理も個々に行われてきた。このため，人事異動によるシステムへのアクセス権限や通行権限の管理負荷が増大し，変更ミスなどによるセキュリティリスクも拡大している。

統合ID管理ソリューションiDcenter(アイディーセンター)は，複数のシステムに対して人事異動によるアクセス権限の変更情報を自動配信することで，業務の効率化，セキュリティの強化を実現する。ID情報の現在，過去，未来の世代管理によって，予約登録や情報の履歴管理による内部統制の強化が可能である。また，各種情報システムと入退室管理システムを連携し，来訪者管理，在場管理，パソコンログイン連携，勤怠管理等の様々な機能を提供する。

Version4.0では，連携機能の強化を実施し，企業内の情報系・物理系システムの適用範囲を大きく拡大した。

2．Version4.0における拡張機能

(1)　LDAP／AD／DB(*1)連携

Informatica社によって開発されたETL(Extract Transform Load)機能搭載のデータ統合ソリューションInformatica PowerCenter(注)(以下“PowerCenter”という。)と連携し，人事システムからiDcenterに取り込んだ全社のID情報を情報系システムの認証基盤となるLDAP／ADへ自動配信する。また，ORACLE(注)やSQL(Structured Query Language) Server(注)，DB2(注)等のデータベースとの連携を可能とすることで，ID管理で求められる各種システムとの連携レパートリーを拡大した。

(2)　ワークフローAPI・ログ監査API機能

各企業では，社員や派遣社員の人事情報をワークフローによって管理する。企業が持つワークフローに対してAPI(Application Program Interface)を提供し，各種ワークフローによる人事情報をiDcenterに取り込み一元管理できる。また，データ操作に対するログ監査APIによって，内部統制への対応を可能とする。

(3)　マルチフォーマットICカード対応機能

iDcenterがこれまでサポートしていたFeliCa(注)に加え，その他複数のカード規格のデータ管理を扱えるようにした。これによって対象とするシステムを拡大した。

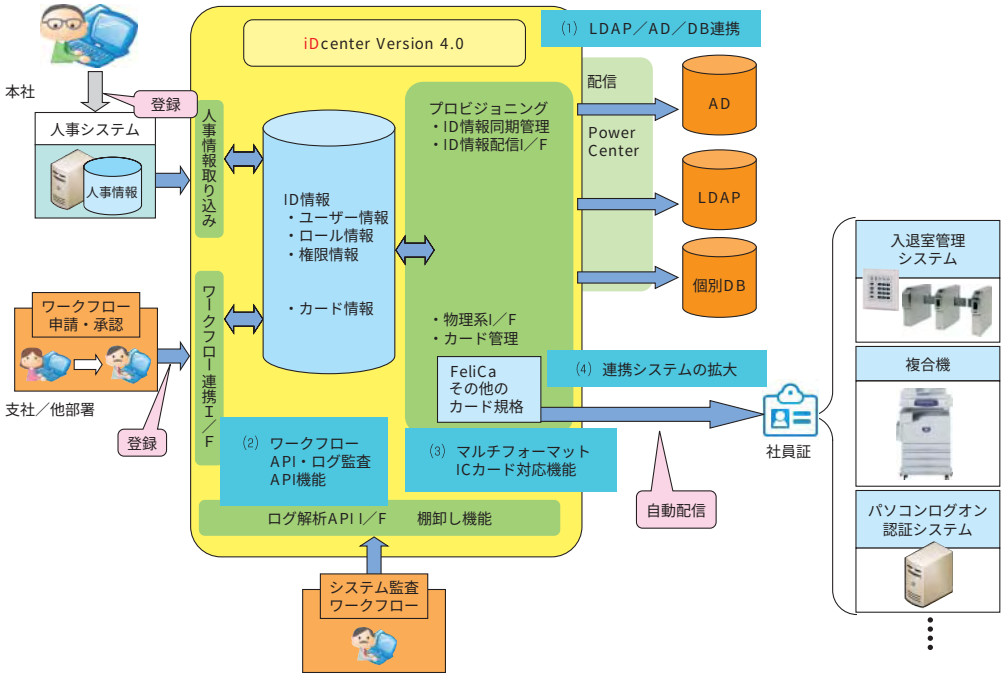
(4)　連携システムの拡大

当社の入退室管理システム“MELSAFETY-G／P”との連携に加え，複数機種のセキュアプリントシステムとの連携やパソコンログオン認証システムとの連携も可能とした。

3．今後の方向

今回の情報系システム及び物理系システムに対する機能拡張によって，あらゆる業種の企業に対して連携できる機能を組み込んだ。今後は，クラウド対応の強化を図り，更に適用範囲を拡大していく。

＊1　LDAP／AD／DB：Lightweight Directory Access Protocol／Active Directory／Data Base



iDcenter Version 4.0での機能拡張

＜取り扱い：三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱ TEL：03－6414－8052＞

トピックス

情　報
Information Systems and Network Service

ネットワークカメラ用録画・配信サーバ“ネカ録3.0”

Recording and Delivering Server "NECAROKU 3.0" for Network Cameras

“ネカ録”は，ネットワークカメラに対応した監視カメラ用録画・配信サーバであり，様々なメーカーのネットワークカメラを組み合わせて表示・録画が可能なこと，IP(Internet Protocol)ネットワーク経由での統合的な遠隔監視が可能なこと，長時間・大容量の録画に対応可能なことを特長としている。最新バージョンである“ネカ録3.0”では，更なる大容量・長時間録画に関する機能強化として，①ネットワークカメラのH.264/AVC(Advanced Video Coding)画像のサポート，②内蔵HDD(Hard Disk Drive)本数拡張，③対応可能カメラ台数拡張の３点を開発した。

①に関しては，ネットワークカメラから配信される画像形式として，従来のJPEG(Joint Photographic Experts Group)形式に加え，H.264/AVC形式をサポートすることによって，画像圧縮率が従来の３～10倍となり，それに比例した長時間録画が可能となった。

ネカ録3.0シリーズ

ネカ録3.0の主な仕様

型名		NS-5700	NS-3500	NS-1500
物理ディスク容量		24TB/16TB/8TB/5TB	8TB/4TB/2TB/1TB	1TB/500GB
RAID		RAID6/5	RAID6/5/1	—
最大録画時間(hr)		約17,100	約5,400	約780
消費電力		～480VA/470W	～200VA/190W	75VA/70W
サイズ(mm)		485(W)×721(D)×88(H)	250(W)×401(D)×100(H)	215(W)×231(D)×89(H)
重量(kg)		～26.8	8.9	4.2
最大接続カメラ数		64		
画像圧縮方式		H.264/AVC，JPEG(モーションJPEG)		
解像度(横×縦)		1280×960(SXVGA)，640×480(VGA)，320×240(QVGA)		
接続可能カメラ	JPEG形式	三菱電機，パナソニック(I-Pro(注)，BB)，ソニー，キヤノン，AXIS，TOA，サンヨー，ピクター，エルモ，東芝		
	H.264/AVC形式	AXIS，パナソニック(I-Pro)，キヤノン，サンヨー		

RAID：Redundant Arrays of Inexpensive Disks，SXVGA：Super eXtended VGA
VGA：Video Graphocs Array，QVGA：Quarter VGA

<取り扱い：三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱ TEL：03－6414－8180>

那覇空港におけるフライト情報表示設備の省エネルギー化

Energy Conservation of Flight Information System in Naha Airport

１日約300便が離発着する那覇空港におけるフライト情報を表示する設備(Flight Information System：FIS)のリプレースに伴い，次の二つの手段で，大幅な省エネルギー化を実現した。

(1)　表示方式の変更

蛍光灯をバックライトとする小型パネルによるモノクロLCD(Liquid Crystal Display)方式から，大型モニタを主とするTFT(Thin Film Transistor)方式に変更し，大画面で，かつ低消費電力を実現した。

(2)　表示輝度変更機能の採用

表示するフライト情報がない場合，自動的にバックライトの輝度を落とし，省エネルギーを実現した(特許第4352096号)。消灯する場合と比べ，省エネルギー化しつつTFTの故障が発見できる表示方式である。

空港の顔であるFISをリプレースすることで，従来の表示器の消費電力と比較し，56%の節電を実現した。さらに，空港のオープン，クローズの時間帯と表示器の点灯時間，消灯時間を見直し，消費電力全体で59%の節電を達成した。

フライト情報を表示している画面は，適切な輝度で表示する。

フライト情報を表示していない画面は，輝度を落としている。

３階チェックインロビー 出発集合ボードの出発便表示例